

奈良県病院薬剤師会 若手研究フォーラム2026

— 臨床の現場から未来を創る —

日々の業務の中で生まれる“気付き”や“疑問”を研究につなげ、患者さんの治療に役立てることが臨床薬剤師の大きな役割です。

本フォーラムは、若手薬剤師が研究成果を発表し、互いに学び・つながり・成長する場を提供します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時

2026年 12月 5日 (土) 14:00~17:00

会場

奈良商工会議所 5階 大ホールA

〒631-8586 奈良市西大寺南町8番33号

参加費
無料

事前参加申込締切 2026年11月30日

参加申込



- ・ 期間内に右記QRコードより、お申し込みください。
- ・ 定員:100名(会場の都合上、定員に達した時点で参加申込は終了します)
- ・ 注意:座席数に限りがありますので、当日参加は認められません。
- ・ 事前参加申込を頂いた先生方には、12月1日を目途に抄録集データを送信します。
- ・ 参加される際は、各自プリントアウトを行いご持参ください。

・ 研修認定単位(申請予定)

日病薬病院薬学認定薬剤師制度【II-6】(HOPESS登録済)

2単位

日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度(PECS登録済)

2単位

※ 重複取得はできませんので、どちらかの単位を選択していただきます。

※ 事前参加申込みの無い方は単位を取得できません。

・ 個人情報の取り扱いについて

収集した個人情報は奈良県病院薬剤師会 個人情報保護方針に基づき適正に管理いたします。

主催 奈良県病院薬剤師会 学術委員会

事務局 市立奈良病院 薬剤室内

〒630-8305 奈良県奈良市東紀寺町1-50-1

TEL 0742-24-1252

E-mail nara-yakuzai@jadecom.jp



奈良県病院薬剤師会 若手研究フォーラム 2026

会期 : 2026 年 12 月 5 日(土) 14:00～17:00

会場 : 奈良商工会議所 5 階 大ホール A

主催 : 奈良県病院薬剤師会 学術委員会



プログラム

14:00 ～ 14:05 開会挨拶 米田 勝晃 奈良県病院薬剤師会 副会長 / 学術委員長

一般演題 1 座長：小倉 直樹 市立奈良病院

O-01 14:05 ～ 14:15

外来院外処方における DOAC の用量逸脱に関する実態と要因の検討

○増井 慎人、米田 勝晃

市立奈良病院

O-02 14:15 ～ 14:25

当院におけるゾルベツキシマブの使用状況および悪心・嘔吐の発現実態の調査

○加藤 智也、黒松 誠、金松 誠、奥野 智之

天理よろづ相談所病院

O-03 14:25 ～ 14:35

パニツムマブによる低 Mg 血症に対する PBPM 導入が相対用量強度および治療継続性に与える影響

○藤井 愛、治田 匡平、小泉 祐介、岡西 康治、松井 俊典、谷田 彩、池田 和之

奈良県立医科大学附属病院

O-04 14:35 ～ 14:45

リネゾリド投与患者における Grade 2 以上の血小板減少症発現のリスクについて

○吉川 知宏、太田 涼介、嶋田 高広、村木 正人、平田 敦士

近畿大学奈良病院

一般演題 2 座長：田辺 涼 高井病院

O-05 14:45 ～ 14:55

ジヒドロコデイン含有市販薬依存を有する妊婦の周産期対応に薬剤師が寄与した一症例

○竹本 悠香梨¹、宮原 芽久美¹、松井 俊典¹、池田 和之¹、木村 麻衣²、扇谷 綾子³

1) 奈良県立医科大学附属病院 2) 奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 3) 新生児集中治療部

O-06 14:55 ～ 15:05

FLS チームにおける薬剤師による減薬介入の実態

○高木 真吾、平田 香綸、志野 訓之、野村 泰生

済生会中和病院

O-07 15:05 ～ 15:15

注射薬の 1 日 2 回毎日払出への運用最適化に伴う返品削減と業務効率化の検討

○岸本 彩野、田村 曉識、田中 奈緒子、松井 俊典、谷田 彩、治田 匡平、池田 和之

奈良県立医科大学附属病院

O-08 15:15 ～ 15:25

地域包括ケア病棟における調剤補助を活用した配薬業務のタスク・シフトと円滑化の取り組み

○武藤 圭佑、青井 博志、和田 良浩、菊山 克彦

宇陀市立病院

一般演題 3 座長：堀 智貴 奈良県総合医療センター

O-09 15:25 ～ 15:35

当院の慢性便秘症治療の現状と課題～緩下剤治療フローチャートの導入とその展望について～

○上田 翔太、中村 恵暢、七搦 恵子、西島 洋美、河西 宏美、六波羅 友貴、北浦 啓吾、鶴田 悠斗

医療法人鴻池会秋津鴻池病院

O-10 15:35 ～ 15:45

尿路上皮癌に対するエンホルツマブ・ベドチンとペムブロリズマブ併用療法における有害事象の発現状況の調査

○内藤 禎人、黒松 誠、金松 誠、奥野 智之

天理よろづ相談所病院

O-11 15:45 ～ 15:55

バンコマイシン AUC-guided dosing における初回 TDM 実施時期と投与調整後の AUC 目標達成に関する検討

○華 晴己、石本 光志、米田 勝晃

市立奈良病院

O-12 15:55 ～ 16:05

プレアボイド活動がもたらす医療経済効果の推算

○中川 千拓、堀 智貴、吉岡 美奈子、吉岡 奈津恵、松浦 秀和、生島 繁樹

奈良県総合医療センター

O-13 16:05 ～ 16:15

肥満病治療薬に対する医療機関と保険薬局間の医薬連携体制の構築

○吉岡 千祥¹、竹田 彩乃¹、中澤 裕香¹、生川 賀代¹、竹田 明法²、五明 孝太³、久我 由紀子¹、西田 育功¹

1) 社会医療法人高井会高井病院、2) サン薬局天理東店、3) サン薬局天理東 2 号店

一般演題 4 座長：黒松 誠 天理よろづ相談所病院

O-14 16:15 ～ 16:25

アセトアミノフェンで軽減しないペグフィルグラスチム誘発性骨痛に対し文献に基づき NSAIDs を提案した乳癌の 1 例

○五明 孝太¹、畑 裕基²、奥村 智晴²、北田 知里²、米田 勝晃²

1) サン薬局天理東 2 号店、2) 市立奈良病院

O-15 16:25 ～ 16:35

高の原中央病院における薬剤師の NST 活動の実態

○安井 大樹、清水 朋子、鎌房 麻理子、熊村 悦子、中井 宏美、初田 泰敏

高の原中央病院

O-16 16:35 ～ 16:45

タゾバクタム/ピペラシリン・バンコマイシン併用群とメロペネム・バンコマイシン併用群の急性腎障害発症リスクの比較検討

○細田 裕介、安田 真依、橋本 佳之、松浦 秀和、生島 繁樹

奈良県総合医療センター

O-17 16:45 ～ 16:55

奈良県西和医療センターにおける疑義紹会の実態調査

○竹岡 尚音、三宅 純子、石巻 靖弘、樋野 光生

奈良県西和医療センター

16:55 ～ 17:00 閉会挨拶 黒松 誠 奈良県病院薬剤師会 学術委員会 副委員長

座長・発表者へのお知らせとお願い

(1) 講演時間

1 演題あたり 10 分（発表 7 分＋討論時間 3 分）です。

(2) 進行

各発表の終了 1 分前と発表終了時間にベルで案内いたします。

時間内でセッションを進行いただきますよう、円滑な進行にご協力ください。

また、座長の進行により発表・討論を行ってください。

開始 10 分前までに、座長の方は右手前方の次座長席に、演者の方は左手前方の次演者席にお着きください。

(3) 発表方法

発表形式はデジタルプレゼンテーション（1 面）のみとなります。ビデオ、スライドでの発表はありません。また、映写は 1 面映写とし、併写を行いませんので予めご了承ください。

ご発表は、演台上の PC モニターを確認し、USB マウスをご自身で操作して行ってください。

(4) PC 受付（発表データ受付）

本会で持込可能なメディアは USB フラッシュメモリーのみです。

演者の方は、14 時の開催までに受付を済ませてください。（演者席 PC にデータ移行）

事務局で用意する PC は下記のとおりです。発表データは下記の環境で作動することを事前にご確認ください。

OS : Windows11

アプリケーション : Microsoft PowerPoint

発表データのファイル名は『演題番号 氏名』としてください。

例) 0-01 奈良 太郎

メディアには、当日発表に使用するデータ以外は保存しないようにしてください。

※ Macintosh をご利用の方は、PC 本体をご持参ください。

(5) PC 本体を持ち込みで発表される場合

PC とプロジェクターの接続には、HDMI の出力端子が必要となります。

使用される PC の出力端子の形状は必ず事前にご確認の上、当日は変換アダプタ等をご持参ください。

万が一に備え、バックアップ用のデータ（USB フラッシュメモリー）をご持参ください。

若手研究フォーラム 2026 実行委員

奈良県病院薬剤師会 学術委員会

委員長 米田 勝晃 （市立奈良病院）

副委員長 黒松 誠 （天理よろづ相談所病院）

委員 治田 匡平 （奈良県立医科大学附属病院）

青井 博志 （宇陀市立病院）

小倉 直樹 （市立奈良病院）

田辺 涼 （高井病院）

堀 智貴 （奈良県総合医療センター）